

エリアウェーブ

峡東教育事務所
 地域教育支援スタッフ
 TEL 0553-20-2731
 FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。峡東教育事務所のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。E-mail :maruyama-xdpr@pref.yamanashi.lg.jp

保幼・小・中連携セミナー報告

峡東地域教育推進連絡協議会

去る8月18日、峡東地域教育推進連絡協議会では甲州市勝沼市民会館において、保幼・小・中連携セミナーを開催しました。

講師に臨床心理士である 長田由布紀 氏をお迎えし、3市教育長はじめ17名の会員の方、保育園・幼稚園・小学校・中学校・サポートセンターの先生や保護者など総勢103名に参加して頂きました。第1部として『「気になる子」の育ちを支えるつなぎめの役割』という演題でご講演を頂き、「気になる子」と言われる子どもの特徴や5歳児健診の重要性、小1プロブレム・中1ギャップについて現状を学びました。第2部としてグループ討議を行い、日頃の指導における悩みや取組を話し合いました。事後のアンケートでは「連携セミナーの持ち方がよかった・だいたいよかった」と回答された方が93%で、「保幼小中の先生方・保護者を交えてのグループ討議は意見交換の場となり、よかった」「様々な事例また対応の仕方を聞くことができ、とても勉強になった」などの意見が寄せられました。一部講演の内容を掲載します。



連携セミナー基調講演 「気になる子」の育ちを支えるつなぎめの役割

臨床心理士 長田 由布紀 氏

今回の連携セミナーのテーマは、『「気になる子」の育ちを支えるつなぎめの役割』ということで、発達段階に応じた支援の在り方について考えていきたいと思えます。

「気になる子」という言葉が初めて論文などに出てきたのは2005年のことのように思えます。「気になる子」というのは一体どのような存在なのか。最初に「気になる子」という指摘が出てくるのは就学前(保育園・幼稚園)だと思えますが、具体的には落ち着きがない子やコミュニケーションができない子、遊びが限定されている子やことばに遅れがある子…と支援者側から言われています。では就学前の「気になる子」への支援ですが、保育園や幼稚園の先生にできることは何だろうと考えると、保護者の方の気づきのパートナーになって頂き、地域の保健師さんと情報を共有していくことだと考えます。また、私がつなぎめとして大きな役割を持っていると思うのが5歳児健診です。就学時健診で何らかの課題が見つかったとしても、あっという間に小学校に入学です。間に合いません。お医者さんから保護者の方にやんわりと伝えて頂き、就学までの約1年を支えていくのが保育園や幼稚園の先生です。具体的にどう接したら良いかは臨床心理士に相談して助言を受けてください。そして保育園・幼稚園での状況をどのように教育機関に橋渡しをしていくかが大切だと思います。正しい情報が伝われば、小学校でも1年生の担任を決める時に役立つと思えます。しかし、このような情報が出ていない子にも小1プロブレムは起きます。学校の先生に聞いた小1プロブレムですが、授業中に立ち歩く児童がいる、学級全体での活動で各自が勝手に行動する…。これらを起こさせないために必要なことは、家庭との連携、地域ぐるみで大人と子どもの交流の場をたくさん作ること、そして保育園・幼稚園の先生と小学校の先生の意見交換の場を設けることという調査報告があります。また、中1ギャップというものも一般的に言われます。しかし、その真実は小4ピハインドの頃には萌芽がみられます。中学校にはスクールカウンセラーが全校配置されているので、中学校区の小学校と連携を取り、スクールカウンセラーと情報を共有することをお勧めします。保育園・幼稚園、担任の先生が一人で抱え込むのではなく、みんなで取り組みましょう。それが連携だと思うのです。



第17回やまなし子どもフェスティバル 山梨市子育て支援課

山梨市では8月6日(土)、夢わーく山梨を会場に、第17回やまなし子どもフェスティバルを開催しました。朝から気温がぐんぐん上がり、最高気温36℃を越える暑い日でしたが、日頃仕事で忙しいお父さん・お母さんと一緒に多くの子ども達が参加しました。会場前のロータリーには『消防署』・『自衛隊』・『峡東地域県民センター』などがブースを出し、防災など日頃の活動を紹介しました。消防車の前や、迷彩服を着て記念写真を撮るご家族の姿も見受けられました。会場内では『思い出手形コーナー』・『親子歯科相談・歯磨き指導』・『子どもの前髪カットコーナー』などが行われました。そのうち歯磨きコーナーでは、歯科衛生士の方が、訪れた親子に対し、磨き残しや正しい歯磨きの仕方を指導していました。暑い1日でしたが、無料で振る舞われたかき氷を食べながら、思い出に残る家族の時間になったと思います。



宇宙飛行士講演会

甲州市教育委員会生涯学習課

7月29日(金) 甲州市民文化会館において、JAXA 宇宙飛行士の星出彰彦氏を招き、講演会が開催され、小・中学生を中心に幼児から大人まで約600人が来場し、星出さんの話に熱心に耳を傾けていました。

はじめに、国際宇宙ステーションでの任務や日常生活の様子が大型スクリーンに映し出され、星出さんがその時体験したことやエピソードを交えながら宇宙飛行士の仕事についてわかりやすく解説してくれました。

続いて行われた質問コーナーでは、質問者の席まで行って直接話を聞き、「一番感動したこと」「一番大変な仕事」「訓練の中で一番つかったこと」「宇宙にあるもの」「宇宙食のこと」など、子ども達の素朴な疑問に丁寧に答えていました。



若者との交流・パソコンに挑戦 in 塩山高校

山梨ことぶき勸学院

ことぶき勸学院峡東教室の2年生は、異世代交流活動の一環として8月2日(火)に山梨県立塩山高等学校商業科の教員・生徒からパソコンを使っての暑中見舞い状の作成(初級)、データの整理(中級)を学びました。初級コースには15名の生徒が参加し、高校生からマンツーマンで指導を受けました。始めにマウスの使い方、つぎにインターネットでの検索を学んだ後、各々が暑中見舞い状を作成しました。中級コースには9名の生徒が参加しました。中級の生徒は家でもパソコンを使っている方がほとんどでしたので、データの整理を無難にこなしていました。初級コースに参加した生徒からは「便利だね。何でも調べられるんだね」という驚きの声も上がっていました。



夏井いつきの句会ライブ

笛吹市教育委員会生涯学習課

俳壇の巨匠、飯田蛇笏・龍太両先生を生んだ笛吹市では、子ども達の豊かな成長と地域を大切にする心を育むことを目指し、伝統文化の俳句を楽しみ経験してもらうために俳句の里づくりの一環として、小学生・中学生俳句会を開催しており、今年で20回の節目を迎えました。その記念事業として7月31日(日)にスコレセンターにおいてテレビでお馴染みの俳人夏井いつきさんを講師に句会ライブを開催し、小学生から一般の方まで約300人が来場しました。

句会ライブとは、大勢の人でも楽しむことができる句会の形で、「取り合わせ」という技を使って参加者が5分で一句作り、投句した作品の中から投票でグランプリを決めるというゲーム的な内容で、表現する喜びや句会の楽しさを体験します。

第一部は、ゲストの小林凜さんと夏井さんのミニトークで、凜さんの作品をもとに俳句の素晴らしさについて語り合いました。第二部の句会ライブでは決勝に7作品が選ばれ、「かぶとむし 小さい声で はなします」がグランプリに輝きました。参加した市内の小・中学生も季語を巧みに使って子どもらしい感性で情景や心情を表現していました。さらに第三部では、句会ライブの実践やその効果について教員向けの講座が開かれました。



教育委員会と警察との協定調印式

各市教育委員会・近隣警察署

山梨市教育委員会、甲州市教育委員会と日下部警察署では7月21日(木)に、笛吹市教育委員会と笛吹警察署では7月25日(月)に、児童・生徒の安全な生活と健全育成のための指導・支援および非行や犯罪被害等の未然防止・早期解決を図ることを目的とした相互連携(パートナーシップ制度)に関する協定書に調印しました。インターネットの著しい発展により、私たちの生活は便利になっていますが、その反面、犯罪も凶悪化・複雑化・低年齢化が進み、連日ニュースで児童・生徒が関わっている事件が取り上げられています。それらの防止・解決には、今まで以上に学校・警察・地域の連携が不可欠と、関係者が口々におっしゃっていました。各家庭におかれましても、子どもと関わる時間をたくさん作り、会話と笑顔の絶えない家庭を築いていきましょう。



ふるさと講座 講談「川中島合戦」

大和公民館

太陽が照りつける7月30日(土)、甲州市大和公民館において、話芸による戦国絵巻「川中島合戦」が開催されました。出演者は大月市在住で落語家・林家正雀師匠の実兄である扇屋文雀(井上文男)さんで、扇屋さんは郷土の歴史や人物に興味を持ち、「川中島合戦」に関する多くの書物を読み込み、今回自作の台本を書き上げました。そして信玄の軍師・山本勘助の「啄木鳥の戦法」による合戦、信玄と謙信が一騎打ちをしたとされる場面などを身振り手振りを交えて約40分語りました。会場には地域の方が40名程詰めかけ、熱心に扇屋さんの話芸に聞き入っていました。



SCIENCE STEP (小学生科学教室)

日川高校

山梨県立日川高等学校では去る7月16日(土)、文部科学省から指定されたスーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の一環として、地域の小学生を対象とした『SCIENCE STEP (小学生科学教室)』を実施しました。当日は小学生110名とその保護者が参加し、メビウスの輪(数学)、スーパーボールを作ろう(物理)、 -200°C の世界(化学)など17講座が開講され、参加した小学生は興味関心のある講座を次々と体験し、高校生達と90分間、自然科学の不思議を学びました。今回参加した小学生は「楽しかったので科学が好きになりました」「家でできることは、是非チャレンジしたいと思います」と笑顔で答えており、事後のアンケートでも「次回も参加したい」が93%と高い回答となっていました。また、先生役の高校生は、「教えることが意外と難しかったけど、楽しくできたと思います」「自然科学の凄さを少しでもわかってもらえたら嬉しいです」と、達成感あふれる顔で答えてくれました。



親子マス釣り大会&キャンプ

山梨市教育委員会生涯学習課

小雨が降る6月25日(土)、三富久渡の沢つり場において『親子ふれあいマス釣り大会』が開催されました。市内の小学生と保護者48家族123名が参加しました。開会式が終わり、釣り開始の合図と共に、あちらこちらで釣り糸が垂らされ、数分もしないうちに子ども達の歓声と共にマスが釣り上げられました。中には小学生そっこのけで夢中に川面を覗んでいるお父さんの姿や解剖教室さながらのお母さんの姿が見受けられ、小学生にとってかけがえのない楽しい時間になりました。



また、8月12日(金)から1泊2日で、三富笛吹小屋キャンプ場において、『ユネスコ歴史探検隊』が開催されました。小学生12名の活動を山梨ユネスコ協会の皆さんや日川高校の生徒会・ユネスコ部がサポートしました。流しそうめんや飯ごう炊飯、夜の野外探索や八瀬ダム周辺の歴史探索など盛りだくさんのメニューを行う中で、自然の素晴らしさ・地元に残る歴史的建造物の偉大さ・仲間の大切さを再認識できた2日間でした。



人権のための講演会ご案内

峡東地域教育推進連絡協議会

来る11月17日(木)、笛吹市いちのみや桃の里ふれあい文化館多目的ホールにおいて、フードバンク山梨理事長の米山けい子先生を講師にお迎えして『人権のための講演会』を開催します。詳細は後日発行致しますチラシをご覧ください。

NPO法人学びの広場ふえふきでは、笛吹市スコレーパリオを会場に、7月26日（火）に『木工工作教室』を、7月28日（木）に『科学工作教室』を開催しました。

『木工工作教室』には講師に御坂の福島さんをお招きし、木の枝を材料にした昆虫づくりに、市内の小学生18名と保護者2名が参加しました。そのなかで、ノコギリやカッター等の安全な使い方も学びました。

『科学工作教室』には講師に関東電気保安協会の輿石さんらをお招きし、備長炭電池づくりに、市内の小学生18名が参加しました。

参加した小学生は「工具を使ったり薬品を使ったりと難しいところもあったけれど、最後までできて嬉しかった」「備長炭電池でも学校で勉強した直列接続ができて、プロペラが早く回ってすごい」、また保護者も「長期の休みに地域の方から、いろいろ教えてもらえるこのような教室は、大変良いことだと思う」と話していました。



全国・関東中学出場を目指した県中学総体結果ダイジェスト

運動部に所属している多くの中学生が休日も返上して頑張っているのは、仲間と一緒に心身を鍛えるとともに勝利を掴み、次のステージに進出するためです。6月に行われた地区予選を勝ち抜いた笛吹・東山梨の中学生の、県大会ベスト8に入った団体種目をまとめてみました。ご覧ください。

陸上競技	男子 石和中 (3位)	陸上競技	女子 塩山中 (準優勝)
柔道	男子 御坂中 (ベスト8)	水泳	男子 山梨北中 (3位)
剣道	女子 御坂中 (6位)	バレーボール	男子 山梨南中 (優勝)
体操	女子 石和中 (3位)		山梨北中 (3位)
バレーボール	男子 一宮中 (7位)	軟式野球	山梨南中 (3位)
	女子 御坂中 (3位)		塩山中 (ベスト8)
軟式野球	浅川中 (準優勝)	バスケットボール	男子 山梨南中 (準優勝)
バスケットボール	男子 石和中 (4位)	ハンドボール	男子 山梨南中 (優勝)
サッカー	一宮中 (優勝)		塩山中 (3位)
	御坂中 (3位)		山梨北中 (3位)
ソフトボール	石和・浅川中 (優勝)		女子 山梨南中 (優勝)
ソフトテニス	男子 浅川中 (ベスト8)		塩山中 (準優勝)
	女子 石和中 (準優勝)		山梨北中 (3位)
卓球	女子 浅川中 (準優勝)	ソフトボール	山梨南中 (ベスト8)
	石和中 (ベスト8)	ソフトテニス	男子 山梨南中 (3位)
相撲	石和中 (5位)		女子 山梨南中 (ベスト8)
	浅川中 (8位)	卓球	男子 塩山中 (ベスト8)
ラグビー	春日居中 (準優勝)	バドミントン	男子 勝沼中 (優勝)
弓道	男子 石和中 (優勝)		大和中 (準優勝)
	女子 石和中 (優勝)		女子 勝沼中 (優勝)
空手	男子	ラグビー	勝沼中 (4位)
形	石和中 (優勝)	空手	男子
組手	石和中 (準優勝)	形	山梨南中 (ベスト8)
	女子	組手	山梨北中 (ベスト8)
組手	石和中 (優勝)		



笛吹高等学校紹介

開校7年目を迎えた笛吹高等学校を皆様にご存知いただくために、校訓をはじめとした様々な情報をお知らせいたします。

校訓 責任と信頼

教育目標

○自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成

○広い視野を持ち、地域社会の形成に
進んで参画できる生徒の育成



主な年間行事予定

- 4月 入学式 新入生オリエンテーション
標準考査 部・委員会登録
- 5月 生徒総会 第1回定期考査
- 6月 ウェルカム笛吹(2年)
- 7月 第2回定期考査 三者懇談 夏季課外
- 8月 夏季課外 標準考査 学校説明会
- 9月 学園祭 校内英語暗唱大会
- 10月 第3回定期考査 ランウォーク大会
上級学校・企業見学会(2年)
- 11月 ふれあいフェスタ笛吹 修学旅行(2年)
上級学校見学・インターンシップ(1年)
- 12月 第4回定期考査 冬季課外 三者懇談
- 1月 冬季課外・標準考査・スキー教室(1年)
- 2月 第5回定期考査
- 3月 卒業式

本校は普通科、食品化学科、果樹園芸科、総合学科の4学科を擁する総合制高校です。各学年8クラス、学校全体では850名近い生徒が在籍し、その規模は県下最大級です。豊富なマンパワーを生かし、部活動も活発に行われています。体育局では自転車部やソフトテニス部、ライフル射撃部をはじめとする多くの部が、文化局では植物研究部や翠櫟太鼓部などの部が関東大会や全国大会に出場しています。

学校行事も様々なものが行われています。6月のウェルカム笛吹は果樹園芸科が育てたベゴニアをプランターに寄せ植えし、石和温泉駅周辺の道路などに設置するものです。笛吹市に観光で訪れる方や、地域の皆様の目を楽しませることができると自負しています。10月には地域の皆様の理解とご協力を得て、ランウォーク大会を実施しています。本校を出発、奈良原、鳥坂峠を経て上芦川農産物直売所にて折り返し、再び学校に戻る全長32.4kmのコースを制限時間6時間20分で走破あるいは完歩するものです。秋晴れの空の下それぞれのペースで全力を尽くす生徒を目にした際には、是非暖かいご声援をお願いいたします。11月3日にはふれあいフェスタ笛吹が行われます。山梨園芸高校の収穫祭の流れを汲む行事で、果樹園芸科で育てた野菜や、食品化学科で製造した食品を地域の皆様に販売するものです。普通科や総合学科の生徒もそれぞれのクラスや系列で模擬店を開き、行事に彩りを添えています。本校は地域に開かれた学校でありたいと考えています。これからも地域の皆様とふれあえる行事を企画したり、気軽に授業をご覧いただける機会を設けたりして参りますので、皆様の変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。